

日本史 B

1 目標・使用教科書等

学習の到達目標	1. 我が国の歴史事象について、その原因・結果・意義を考察できる歴史的思考力を高める。 2. 様々な史料や事柄について正しく理解・判断し、世界的視野にたつて把握する力を養う。
使用教科書・副教材等	『詳説 日本史 B』(山川出版社) 『最新 日本史図表』(第一学習社) 『日本史用語集』(山川出版社) 『新日本史研究ノート標準編』(啓隆社)

2 学習指導計画及び評価方法等

月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい
4 月	第 7 章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展	・武断政治から文治政治へと転換について、その方策や影響について段階をふんで理解する。 ・文化の担い手の変化など、江戸時代中期の特徴についておさえることができる。
5 月	3 元禄文化	
6 月	第 8 章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	・改革が必要となる過程と改革内容、それが庶民を向いたものでなく、庶民の不満が蓄積されていくことを理解する。 ・幕政の改革の行き詰まりや、雄藩の登場などを学習することによって、幕末へ向けての胎動を感じる。
7 月	第 9 章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	・諸外国の圧力や幕藩体制に不満を持つ人々によって幕府が崩壊し、中央集権体制に移行していく過程を理解する。 ・立憲政治成立から欧米列強と肩を並べるくらいまで急速に成長した過程とその弊害を理解する。 ・政治問題だけでなく、経済面での発展を世界との比較を意識して学習する。
8 月	5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	
9 月	第 10 章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	・第一次世界大戦、国内経済の発展とその後の恐慌、政党政治の成立と崩壊の過程、市民文化の形成について理解する。 ・国内政治・経済の閉塞状態からアジアに進出し、十五年戦争に発展した過程について理解する。 ・日本だけでなく、列強の利害対立について理解を深め、勢力図を描くことができる。
10 月	第 11 章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	・戦後復興の様子を、世界情勢と絡めて理解する。 ・冷戦期の構図について把握し、日本が直面した課題について考察することができる。
11 月	第 12 章 高度成長の時代 1 55 年体制 2 経済復興から高度成長へ	・経済発展の背景について段階をふんで理解することができ、世界情勢と絡めて説明することができる。 ・国際社会における日本の立場について考察することができる。
	第 13 章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	・20 世紀末の情勢について把握し、世界情勢と併せて理解を深める ・現代日本の課題だけでなく、地球規模で直面している課題に向き合う姿勢が備わっている。
12 月 1 月 2 月 3 月	総合問題演習	センター試験対策

3 評価方法

定期考査 提出課題及び提出状況